

貴志川流域の特徴

- 貴志川は、紀の川の河口から19.0km付近で合流する河川延長39.1km、流域面積313.2km²の一次支川であり、合流点から約6.0kmまでが大臣管理区間である。また、貴志川には13河川が流入している。



①貴志川流域は、和歌山市、海南市、紀の川市、岩出市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、高野町、有田川町の4市5町で構成され、**貴志川は家屋連坦地域及び役場が立地した地域を流れる。**

②貴志川とその支川では、これまで氾濫による**浸水被害が度々発生**しており、令和5年台風第2号に伴う大雨では広範囲で浸水被害をもたらした。

③接続する紀の川からの背水影響で貴志川の水位が高い時間が続くと、**多くの支川等で排水が困難となり、浸水被害が発生**するおそれがある。



▲浸水状況(海南市野上中地区) (R 5)



▲浸水状況(紀美野町下佐々地区) (R 5)

河川整備に加え、特定都市河川指定により、更なる「流域治水」の推進を図る。

【特定都市河川指定】法的枠組みを活用し流域全体での浸水被害対策を推進。

- ・「流域水害対策計画」の策定。法定計画により浸水被害対策を推進。
- ・雨水浸透阻害行為の許可による流域全体で流出量を増やさない取組の推進。

近年の水害、特定都市河川指定に向けた動き

H 29.10	前線に伴う豪雨により床上99戸、床下128戸の浸水被害が発生
R 5.6	前線に伴う豪雨により床上80戸、床下177戸の浸水被害が発生
R 6.10	流域市町担当者へ特定都市河川に係る説明
R 7.1	指定の方向性に関する関係者（4市5町）との事前合意
R 7.11～	流域住民等に、特定都市河川指定に向けた説明を実施
R 7.11	貴志川流域水害対策協議会設立に向けた準備会を開催
R 8.3	特定都市河川指定予定



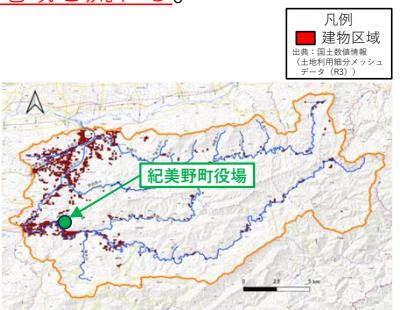
▲R 5.6洪水における浸水被害状況



▲貴志川流域水害対策協議会準備会の様子

法的枠組み(特定都市河川制度)を活用した 「流域治水」の本格的実践 ※検討中

- 河道掘削や築堤等の河川整備による浸水被害対策
- 田んぼダムやため池の治水利用などによる浸水被害対策
- 対策後も浸水が想定される区域において、貯留機能保全区域や浸水被害防止区域の指定による浸水被害対策 等を検討



【ソフト対策】

降雨前の事前放流による低水位管理
降雨予測等をもとに、ため池の貯留水を事前に放流し、空き容量を確保します。

期別の低水位管理
非かんがい期は常時低水位管理を行なうなど、期別毎に水位を設定して空き容量を確保します。



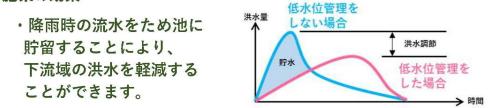
【ハード対策】

洪水調節容量を確保するための取組として、ため池の堤体の嵩上げ、洪水吐きスリット（切り欠き）の設置、廃止予定のため池を活用するための整備を行います。



施設の効果

- 降雨時の流水をため池に貯留することにより、下流域の洪水を軽減することができます。



他河川の取組事例

▲ため池の治水利用のイメージ

出典：流域治水施策集 Ver.2.0 水害対策編
(発行：国土交通省水管理・国土保全局治水課)